



一八 受信一七〇六 譯了一九三〇 電〇三八九五  
 開始一八〇五 三十一通信 象事般

二一十一通信隊

（通報表示）氣象部

密電〇六一二〇〇番電

發 第三氣象隊マニラ支隊長

宛 第三氣象隊長

通報 司令長官

先般十二月二十九日出港「サンフエルナンド」ニ向フ途中十一日朝「

マシソツク」灣ニテ敵ノ銃爆撃ヲ受ケ自沈ス暗號船體ト共ニ沈ミ其

ノ後浮上ヲ認メズ殘員船長機關長奥田森本山本中山他マニラ支隊ヨリ

ノ便乗者二〇名中二名五日朝他船ニ便乗「サンフエルナンド」ニ入港

時ノ行先指示ヲ得度

通四三七三 天ヲ十一（一八三六七五）二十一通 種口 久保田

20. 1. 9

一九 受信一四四五 譯始一三〇〇 譯了一四二五 電〇四三〇五 作 概〇

緊急

◎ 大海參一部長

◎ 總無線艦所用共通符號

作

◎ 大臣・總長・聯合艦隊口・南西方面艦隊口  
海上護衛總口

機密第〇八一三三〇番電

發 高警參謀長

第三一魚雷艇隊增強部隊六隻 Ⅱ二五型 (五三〇・五三一・五三四)

Ⅱ一四型 (五三八・五三九・五四〇) 乘員共ニ輸送關係上高雄待機中

ナルトコロ當分進出不可能ニ付至急第二六魚雷艇ニ增強方取計ヲ得度。

適四八六五 呂一〇ラ十八 (九八三〇KG) 佐世保 櫻井 (榛澤)

人

局長	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	通信隊	潛作區
副局長	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	通信隊	潛作區
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	通信隊	潛作區
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	通信隊	潛作區

九 受信一〇四〇 譯丁一二〇〇 電〇四一六四 作區 鑑◎

二 通信隊

機密第〇八二一一三番電

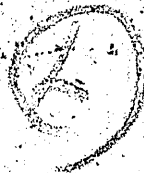
發 第三十二特別根據地隊司令官  
宛 南西方面艦隊參謀長

通報 第三南遣艦隊參謀長

十二月七日附第六震洋隊南菲部隊ニ編入サレ有ル所同隊ハ目下一ザ  
ンダカンレニ在リ現戰局ニ鑑ミ南菲方面進出ノ見込無キヲ以テ此ノ  
際同隊ヲ第二艦隊編入ヲ可ト認ム意見返。

通四七三八 呂一ブラ一七(一五七一〇EC)三十二通 深海本(小澤) 軍

電信課



一九 變遷一九五五 譯丁二一四五 電〇四四〇五 航機本〇

作機緊急

小 岡 山 司 令 所

クラーク一聯合基地航空部隊戦闘司令部

南西方面艦隊司令部・第一挺身航空部隊・高雄空基地

機密第〇九一五四五番電

一 G F G B 指揮官

宛 第二十六航空戦隊司令部

通報 七六一空司令部第七六三航空隊司令部第一〇二一航空隊司令部

在高雄七六三空一式陸攻三機明日〇二〇〇頃「クラーク」中着

着後即時歸投セシム

右飛行機ニ在ノ人員ヲ高雄ニ轉進セシム

(1) 第一〇二一航空隊司令以下幹部三名

(2) 第七六一航空隊飛行長中村少佐

通五九一五 第一〇三二一四七〇五 高雄 深澤(印)

20. 1. 10

作戦緊急

一 一 一  
 大分二一四六  
 開始二三一五  
 丁〇二二三  
 〇五四四四  
 航作本〇



第一聯合基地建設部  
 聯合陸隊口・二〇二六各隊  
 ツゲガオオ空基地

機務部 〇〇一八二五番

増田大佐

搭乗員状況報告

- 一、轉進者四四五名八日「タルヲツク」第一組二四〇名九日同地發
- 「カバナツアン」經由途中車輛故障ノ爲十日〇八三〇エチアゲ着
- 二、途中墜賊ノ襲撃ヲ受ケ降松大佐編本へ兵一重傷へ生命ニ別條ナシ一職死ナシ
- 三、第二組ハ「カバナツアン」迄ノ輸送暫時中止該軍も依頼シアリ車輛都合ニ依リ延期ス
- 四、最近敵ハ車輛運梁破壊ヲ開始當基地空襲激化ノ情況ニ備テ搭乗員ノ飛行便緊急設定方取計ハレテ

一三三  
 一〇一八  
 一四一八  
 四五七二  
 五五〇  
 高放  
 増水  
 命  
 三

一 一 一 受信一五〇五〇 譯了一六〇〇 電〇五二六四 補 般 〇

クラーター聯合基地 戰地航空司令部 所

東京通信隊

機密第一〇二二二六番電

發 南西方面海軍航空廠長

宛 南西航空廠マニラ工場指揮官

一 中川主計中尉立光上等衛生兵曹至急復歸セシメラレ度

二 當廠ハ當基地ニ於ル輸送補給全般ヲ擔當スルコトニ定メラルルニ付

前田整備兵曹長弘重上等兵曹水野一等兵曹中野工手以下運輸班全員

(除扶桑員)

三 ハンター〇疋鹽酸(又ハペーリスト)相當量下士官兵被服八〇着リツ

通五八九四 呂一B(一四九三〇KG)三一通 齋藤(森田)

クサツク三〇〇リヤカ一五喜黒色火薬一〇珪射出機發射藥一〇發  
 以上補充材料成ルベク多數持參セシメラ度  
 四右進出隊ノ一サンブエルナン下ニ到着豫定日時返。

人

作戰緊急



一一一 受信 〇六二八 譯丁 一〇二五

電〇五〇三二  
電〇五〇七一  
〇五〇九九

航作 概 本〇

局長	六航空戦隊	平	工勇	山	赤城	岡山	司令部
課長	エチアゲ基地	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	伊藤	

機密第一一〇〇二三番電

四分ノ一、二三

一 G F G E 命令第二號

第二十六航空戦隊司令官ハ在「クラーク」搭乗員並ニ整備科員通信科員中轉出人員ヲ速ニ「エチアゲ」ニ陸行轉出セシムルト共ニ行動豫定ヲ報告スベシ（本人員ハ道テ臺灣ニ轉進セシムル豫定枝柄優秀者ヲ選定ノロト）指揮官一五三空高橋勝中佐ニ指定ス

六搭乗員健康者ニシテ前同轉進ニ選レタルモノ

畢勤及司令部附 一四一空大尉大塚中尉佐藤 二〇一空大尉吉田

通五七七八・五七八〇 呂二Bラ十八（四七〇）高雄 渡邊・安田・櫻井（岡崎）



中尉森緒 三四一空大尉村揖 七六三空大尉伊東中尉溝井 七六  
 一空大尉松山渡邊中尉今田 二二一空大尉吉田 北非空大尉牧元  
 中尉名園 十二航空艦隊司令部大尉小林西濱少尉祖田兵曹長上角  
 青木栗山仲野清田藤久崎

三隊附士官（特准）

（空備零戰三）（三）紫電銀河隊改各二（二）月光彗星天山空雲各

一（一）百司偵艦偵各隊附各一合計二八

（回兵器）（特准）射擊一二雷爆三光學一寫真一

（通信各隊）二六航戰司令部ヲ含ム 准士官以上一。

（電信課駐 本電四分ノ四未着）

緊急



花本参謀

第一航空艦隊参謀長

マニラ方面ニシテ一航艦、十二航艦司令部附ノ處理左ノ通

マ小官以下一七名十二日一〇二一空艦便ニテ臺灣轉進

ニ山口少尉以下四三名「エチアゲ」轉進待機ス

三下士官兵一八名（病弱者）「マニラ」殘留ス。

通六五〇〇 呂一B(一ニ八一〇〇)三一通 野島(大) 出

機密第一二〇九二五番電

着	小岡山司令所	?	伊	濱	濱	濱	濱
譯始	一七	平春	王勇	山	山	山	山
受信	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
電	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
六	六	六	六	六	六	六	六
四	四	四	四	四	四	四	四

航作 本〇

20. 1. 13

人々



一四三 受信開始 〇〇三一一〇八

譯字 〇一二〇 電 〇六四九五 作概 〇

東京通信隊

小崗山司令部

南西方面艦隊 戸・二六航戰

機密第一三一六三二番電 二分ノ二

通報 人事局長

發令セラレシ新轉入幹部モ通信交通不如ノ爲集結困難ニシテ尙防空火器ノ大部ヲ西方山地ノ復廊陣地ニ搬入水平射撃ニ設置ヲ擬テ了セリ  
局地ニ於テハ警備ニ任ズル警備隊ヲ遠ニ解消スルヲ現狀ニ即應セルモノト認ム 尙軍醫長、主計長ハ現在高雄ニ在リ。

（電信課註、本電二分ノ一未着）

通七二四九 呂二日廿三（四五七二五KG）高廻放

高雄（廿四）

19. 1. 18

人 人

一三 受信二三四二 譯了〇〇四五 電〇六四四三 作機〇  
一四 譯始〇〇一五



● 横須賀航空隊  
● 海上護衛總口・聯合艦隊口・佐鎮

機密第一三一八〇一番電

宛 横須賀海軍航空隊司令

機密横鎮信電合作第十號

機密横須賀鎮守府信電合作第九〇二號ニ依ル横須賀海軍航空隊司

令ノ任務ヲ解ク

通七二六一 呂一・ケ三・横通 田下(接向)

人

一一四 受信〇〇四一四八 譯了〇四五〇 電〇六三八八 航作本〇



佐 東 通

三五二空

暗號之極秘

機密第一三一九二五番電

通報 航空本部長 人事部長

上等飛行兵曹岩坪正實(佐志飛第八六四二號)六日敵機大村地區來襲ニ際シ敵機中 長崎西方上空ニテ行儀不明目下搜索中。

通七三一三 呂一Bケ三(B) 佐通

海軍 後川(山中)

第十信課

緊急

一四 受信一七二五 開始一八〇五 丁一九二〇 電 〇〇〇〇 六六六六 七七七六 五五〇七 二一九五 航作機本〇



◎ 海上護衛線口・第一護衛艦隊口

◎ 航本總務部・九〇一航空隊・三航空艦隊口

聯合艦隊口・一一根

機密第一三二三三〇番電 四分ノ一三三四

貴機密第一〇一一一六番電返

作戦現狀

(1) 機材 (一E F 機密第一三一八三六番電開聯一月十三日現在全

部零水) 昭南七 (可動右内一電探) (外ニ一E Fニ八讓渡シ

ペナンニ派遣) カムランニ (マニラニ派遣中) カツトライニ

通 七七五九三八 七五六一八 呂一Bケ三 (一六四四〇K) 十通 一

村尾・羽金・山崎  
渡邊・片山 (機口)

(内ニ小破一昭南ニ派遣中) キノシロ外ニ二機(磁探) 東港ヨリ空輸中

回進人員

(一) 幹部中未着任者

伊藤(二〇七九ノ三) 廣瀬(三八一七) 軍醫科士官八(全

員) 主計科士官一村山(二一六〇) 十日西貢着佛領印度支

那方面ノ指揮ヲ執リツツアリ外ニ小ハタ少佐松井主計少佐

本年度總算事務打合ニ上京中

(二) 在ラプアン番第九三三海軍航空隊派遣員(羽上整備兵曹長

外下士官兵三三名) ハ便船ノ都合懸當分ノ間昭南集合ノ見

込立タズ

(三) 在ルソン島第九三三海軍航空隊基地員(石井中尉外准士官

以上一五名下士官兵七五名) 轉進ハ見込ナシ

## 三 要 望 事 項

- (1) 航空作戰基地輸送機ノ至急配屬
- (2) 現情勢ニ鑑ミ佛領印度支那方面ニ戦闘機一隊程度ノ配屬(第十  
三航空艦隊ニ配屬スルモ可)
- (3) 佛印方面ノ狀況ニ鑑ミ器材ノ至急充足(電探磁探機ノ供給是非  
必要)
- (4) 水偵ヲ當隊ヨリ一五機ニ分割困難シツツアリ寧ロベナン派遣隊  
ヲ當隊ト更メ一五機ト融通連絡セシムルヲ可トス
- (5) 舊九三三空飛行長三浦少佐ヲ是非當隊附ニ轉勤發令方希望ス
- (6) 内務長修補長ノ充員(特ニ内務長ハ至急)



局長			
一課長			
A			
B			

一七二五 〇六六八四 作統〇

19. 1. 15

第三一通信隊第五分遣隊  
聯合艦隊 戸・第一根據地隊

機密第一三二三三五九番電

發 G K F 參謀副長  
宛 G K F 參謀長

各員ハ既ニ所命任務終了セリ 此ノ際是非共速ニ内地歸還ノコトニ  
手配スル要アリト認ム 目下G K F「マニラ」戦團司令所ニ在リ

第一特別基地隊附 溝口 大尉、門 大尉  
G K F 司令部附 西尾 村 大尉。

通七五一七 呂二〇八一二八二〇 (三) 三一通 石垣 (太 出)

人

人

作

一六 受信 〇〇四一三〇三 譯了 〇五四五 軍 〇〇七三三九 整作

共 符

東京通信隊・舞鶴通信隊  
南西方面艦隊口・三一戰隊

機密第一四一一二八番 二分ノ一二

朝顔驅逐艦長

艦政本部總務部長 人事局長 舞鶴工廠總務部長

受報 軍司令部第二部長

一月下旬舞鶴三回航(約一ヶ月)入渠修理ノ豫定ニ付左記審議ノ上施行

方取計ヲ得度

一海軍軍醫少尉配員

三二五耗單裝機銃二基増備

通八三三六 呂一 四四〇四五 高通放 小野、工藤(小)

三九三式探信儀一型ヲ三式又ハ五型ニ改装

四Q.L式測定儀ヲ九二式ニ換裝

五水式羅針儀ヲ九〇式ニ換裝

六九一式短受信機及九二式特受信機改三各一基ヲ九二式特受信機改

四ニ換裝

七水上用雷波探信儀裝備

八二五kW蒸氣發電機ヲ四〇kWニ一〇kWチセル發電機ヲ二五

kWニ換裝九 哨防ポンプ一臺一罐室ニ増備

九 哨防ポンプ一台一罐室ニ増備

十機械室排氣風路延長

十一主砲ヲ高角砲ニ換裝。

緊急

一五受信一四三〇五 譯了一五一五

電電電  
〇〇〇  
七七七  
一〇〇  
〇八五  
五二八

航作  
本概  
〇

作

九三六空（セレター空基地）

第一護衛艦隊

（通報表示）海護總口

機密第一四一三四〇番電

四分ノ一三四

發 村山中佐

一EFGB機密第一〇一〇三番電關聯

一作戰現狀（佛印方面）

(1) 作戰空襲ニ依リ零式水偵一機九〇一空陸攻七機損耗外ニ零式

水偵一機ハ昭南及「カジャカオ」派遣中（狀況不明）殘餘小偵

通通通  
八八八  
一〇〇  
〇二〇  
一六九

於十二（一三五二〇KC）高頻放

中川（上野）  
川島  
小野寺

20. 1. 16

Handwritten mark resembling a stylized '3' or '2' with a diagonal slash.

一 一五 開始 一四〇〇 一三三八 電〇七〇三二 作區◎

一 南 遣 艦 隊 戸

（通報表示） 大海參一部



隱 秘

機密第一四一五〇七番電

一 警備隊司令、官氏名及編成場所至急知ラサレ度。

通十九四〇 四一〇、一三〇、六四四〇、十通

江森（川崎） 海軍

電信課

20. 1. 16

第一課長

秘

至急

受信開始 〇九三〇〇

譯丁 一三〇五

電の七〇一四

航作概本 〇

1.17

小岡山司令部

作

東京通信隊  
台南航空基地

赤坂

二分

肝

機密第一四二二七番電

二分

1.17

發 一〇四〇參謀長

宛 人事局長

通報 軍務局長

一 台灣ニ於ケル警備隊甲隊整備兵力ハ當分ノ間左ノ程度ニテ支障ナキ

見込ナリ (單位飛行隊)

零戦二隊形軍艦上偵察機彗星銀河天山月光各一隊紫電陸攻各半隊 (

水兵隊送發機本現有兵力ノ儘)

二 右兵力ハ一タラシクヨリ約二〇〇〇名ヲ抽出編成

スルニ定メテ計ハ尙ニ整備中ニシテ左ノ通り不足スルニ付至急之方

一 電信課計本電二分入二未着

通七八七九

譯一〇七二

一三〇二〇KG

高橋

山下 (松山)

2-5681



機密第一四二一二七番電

二分ノ二

彩雲一五・銀河五〇・陸攻五〇・月光二五 計一四〇

三 菲島ニ於ケル航空隊新制度運用ノ戰訓及營隊現下ノ特殊事情ニ鑑ミ右  
整備員約九〇〇名ハ之ヲ一A隊司令部附トシテ運用スルヲ可ト認ムル

二 付司令部附トシテ發令方取計ヲ得度  
(准士官以上ノ補充ニ關シテハ追テ照會ス)

一 東通註 本誌二分ノ一既配布

通八〇二一 壽一七ケ二(一三五二〇KG)高雄

村松(鹿島)





英「フアンサン」附近漂着セルモノサマ〇五船團中西實ニ收容セル  
モノ六九名 尙モ増加ノ見込

英「キノン」附近ニ漂着セルモノ<sup>17</sup>ニサ〇五船團一〇數名尙モ増加ノ  
見込

英「キノン」北方沿岸ニ漂着セルモノ<sup>17</sup>ヒ八七船團相當多數海岸ニ漂  
着ナル見込ナルモ未ダ消息ヲ得ズ

第拾部

海  
章



機密第一五一五五番電

發 第三〇二海軍航空隊司令

着信者 東部軍司令部

三〇二空 戰鬪概報 (一月十四日)

一、敵B十二九名古屋大阪方面來襲ニ對シ月光一二機銀河二機ヲ明治

空渥美半島上空ニ配備之ヲ激撃

二、戰果撃破三機以上(内一機ハ遠藤大尉ニ依ルモノニシテ撃墜ノ算

大ナリ) 命中彈ヲ與ヘタルモノ四機

三、被害月光一機(遠藤大尉西尾上飛曹)ハ一二五六敵(一機撃破)

(以下混信ノ爲不明)ヲ電報後一三四五頃渥美半島ニ墜落搭乗員

ハ落下傘降下セルモノ西尾上飛曹ハ落下傘切斷遠藤大尉ハ開ク寸前

ニ接地二名共戰死セリ同機戰果 被害ニ付目下調査中。

通八二五七 呂一白ラ一八(一三六RO) 權通 編岡(渡邊)

一五六 受信二二二一〇 譯了〇二四〇 電〇七四四七 參作 本概

緊急

作

一 一六 受信 〇〇二一〇五四 譯了 〇三三二二 電 〇七三九二 作 概

三 一 通信隊五分遣隊

通・聯合艦隊口

機密第一五一四〇〇番電

發 參謀副長

海軍 參謀長

通報 大海通信部長 G 參謀長 大海參一部長

マニラ方面海軍防衛部長 戰團指揮所 (元威司令部) 通信施設ハ

二十日概成ヲ目途トシ左ノ通工事ヲ着手セリ (富士ヶオカ施設

ハ其ノ儘殘置)

送信機短五號一臺短移動五臺 (海岸耐彈電信所ニ裝備) 受信機

九二特十臺 (戰團指揮所ヨリキヤビテマツキンレー富士ヶオカ

ヲモ管制シ得ル見込ナリ)

通 八三七四 品ニバラ十八 (四二七〇) 三一通 (川崎)

三 聯合通信隊指揮官ニハ北非空通信長阿保少佐ヲ充テタリ  
 三 若林中佐ハ三一〇〇本隊殘員（電信暗號兵曹長各一名下士官兵  
 各二名）ヲ率テB Aニ向ケ十五日發轉進ス。

2  
 老  
 子  
 子  
 子

人

至急

一一六  
受始信  
〇〇三〇二  
四一〇  
了  
〇四四五  
電〇七三六七  
航作概  
本〇



東通  
青島  
聯合  
根  
印

機密第一五一八二四番電

航 大海参一部 航本總務部

上海（戊基地及龍華）並ニ青島各航空基地ハ根據地トシテ急速整備ヲ促  
進シアル所作航空隊ニ對スル協力基地隊員ノ展開ニ關シ至急御配慮ヲ  
望ム。

通八四二九 臣二日ヲ十八（四〇四五RC）上海 石毛（小野田）

20. 1. 16

4/10

作

一六 受信 〇〇五九 〇三三四 電 〇七四二三 潛作艦 〇

急

聯合基地航空部隊

聯合艦隊司令部 大海參一部

機密第一五一九三三番電

南西方面艦隊參謀長

聯合艦隊機密〇一四一〇ニ依ル搭乗員輸送ニ關シ潜水艦ニ依ル輸

送ヲ要スル人員數及之ガ實施ノ時機等ニ關シテハ貴方ニ於テ所要

ノ向ト連絡セラレ度追テ「アバリ」ニ於ケル通信機能ニ關シテハ

同地所在連絡基地トノ連絡確保（目下不良）ニ努メツツアル外第

一輸送戰隊ヨリ派遣通信隊設置ノコトニ命令セラレアリ

臺灣ツケカラオ方面（又ハマニラ方面）間及ツケカラオ（又ハヤニ

ラ）バギオ間連絡飛行便ニテ設定方御配慮ヲ得度追テバギオ飛行

便八三六六 呂一Bラ十八（四二七）EC（三一週五分）  
三浦 齋ひ

20. 1. 17

20.6.1

場（バギオ市ノ一五〇度五軒）ハ四〇×一〇〇〇ニシテ兩端上勿  
配アリ九九式艦爆程履迄（陸軍ハ高練ヲ使用シアリ）使用可能ニ  
シテ夜間着陸ハ不適ナリ。

人

人

至急

一六 受信開始 〇〇四三〇〇 〇〇 丁〇四二〇 電〇七三六二 航作機本〇



九五五空 高警・一南遣艦隊 聯合艦隊 海南警・三十一通第五分遣隊 十一根

機密第一五二二一〇番電

宛 第一特別基地隊

G K V 信電令 (乙) 第一號

第九五五空司令へ水上機ヲ以テ機宜左ノ者ヲ臺灣若ハ佛印(海南島)ニ輸送スヘシ溝口大尉門大尉西尾技術大尉

通八四三〇 呂一Bラ十八(四二七〇K) 三十一通

菅原(庵原)

20. 1. 18